

地域おこしのプロフェッショナル 仕事の流れ

vol.1 芽室町 八所かおりさん



~PROFILE~

芽室町 八所 かおり さん

出身：大阪府

前職：ナレーター・声優（現在も継続中）

趣味：一人旅、乗馬

1 地域おこし協力隊になったきっかけは？

旅行が趣味で色々なところへ訪れる中で、北海道に居心地の良さを感じました。中でも、道東・十勝は私が思い描いている北海道の景色が広がっていて、何度も通い詰めているうちに、一度住んでみたいと思うようになりました。

北海道への移住に向けて職探しをしている中で、**地域おこし協力隊の募集告知**を見つけて、その存在を知りました。東京で開催された説明会を通してNPOの方と繋がり、その担当者からの勧めで、三笠市の地域おこし協力隊に応募し、移住定住PR担当として採用されました。十勝への思いはありましたが、三笠市の仕事内容が私とマッチしていたので、着任することにしました。が、実際に住んでみると、任期後も住み続けるイメージがどうしても湧かず、十勝での移住先を探していたところ、芽室町で地域おこし協力隊を募集していることを知って、応募しました。



2 日々の活動内容や活動を通じて感じていることを教えてください

芽室のPRにつながることを幅広く行っています。着任当初から「芽室のPRに繋がることをどんどん提案して、どんどん動いて」と言われたので、なんでもやらせていただいています。

着任後は、まず、芽室を知ってもらうためのツールが必要だと思ったので、施設や街並み、春夏秋冬の色々な景色の写真をとり、それを基に町を紹介するスライドや動画を作りました。



また、ラジオ番組でのPRや、移住者同士の交流会を開いて横のつながりを作るということ
もしています。大阪・名古屋・東京で開催された移住フェアにも出展し、ノベルティグッズ
のデザインもしました。

2年目からは、研修会やイベントの企画運営も始
めました。芽室の食材を持って行って、芽室の食を
楽しんでもらいながら、芽室町の観光PRをさせて
いただくというのを、北海道内の2か所で行いま
した。その中で、めむろ散走（電動アシスト自転車に
乗って、芽室の景色や食を楽しむツアー）などが当
たる抽選会も行い、それをきっかけに遊びに来てく
れた方もいました。今年は道外でも同様のイベント
を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響でできなくなっていました。



また、移住フェアについても、今年はコロナの影響で出展が難しくなったので、オンライ
ンでの移住相談も始めました。コロナウイルスが収まって、小さいお子さんのいる家庭や、
フェアの会場から離れた場所に住んでいる方など、オンラインの方が参加しやすい方もい
るので、今後も両輪でやっていくことになると思っています。

今後も芽室のPRにつながることは何でもやっていきますが、芽室だけではなく十勝全域
の魅力も伝えたいので、個人的にSNSでの発信を行っています。移住相談でも、芽室町だ
けでなく、**その人にとって、十勝のどこが合うのかを提案できるようになりたい**と思っ
ています。

3 芽室町の魅力について教えてください。

私の思い描いていた、**ザ・北海道な景色**。どこま
でも続く畑と防風林は圧巻です。また、雪を頂いた
山が好きなので、日高山脈が近いのも良い。四季が
はっきりしていて、どの季節も美しいと感じていま
す。



また、**移住者が多く、排他的なところが少ない**
と感じました。町の人もととても活動的で、すぐに知
り合いの輪が広がって、お願いした時にも快く協力してくれる民間の方や移住者の方が多
いので、非常に活動しやすいです。人との距離感も私にとってはちょうど良く、親切だけど、
プライベートには立ち入らないでくれる。芽室町の最大の強みは人だと思います。

そういう意味でも、芽室町は素晴らしい町だと感じています。